

キルクーク県の状況(GOVERNORATE PROFILE: KIRKUK)

2014年4月 国際移住機関 (IOM)イラク支部のレポートより

国内避難民^{1,a}の人々が直面する主要な問題

-  **60%** の居住区で、避難民女性への適切な医療が提供されていません。
-  **80%** の居住区で、避難民の子どもは中等教育を受けられていません。
-  **90%** の居住区で、食料および日用品が不足しています。
-  **40%** の居住区では、毛布や寝具がほとんどありません。
-  **100%** の居住区では、燃料がほとんどありません。

人口データ

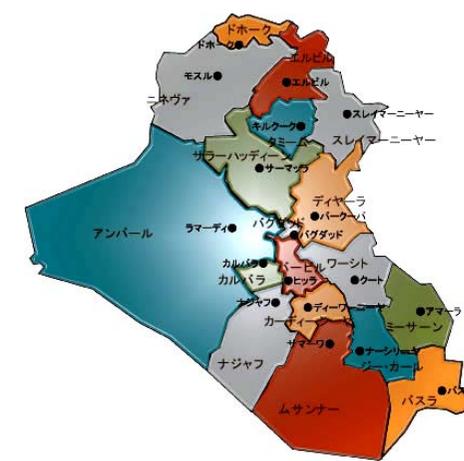
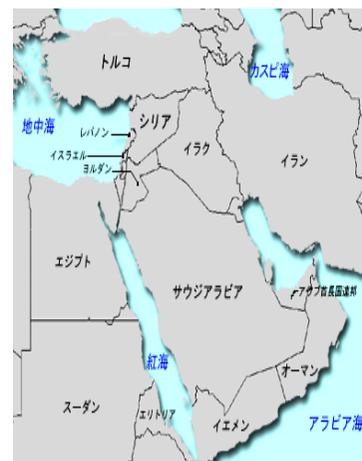
- アンバール県人道危機による避難民 **12,780 人²**
- 2006年以降の避難民^b **49,702 人³**
- シリアからの帰還民^c **320 人⁴**
- 総帰還民数^d **21,096 人⁵**
- 総人口 **130 万人**

概要⁸

キルクーク県は、イラク北方に位置する県で、アラブ人、クルド人、トルクメン人といった多様な民族が居住しています。キルクークは、アンバール県やサラハッディーン県から、多くの避難家族を受け入れており、また、キルクーク県内でも、県内の別の地域に避難している人々が発生しています。キルクークは現在、クルド自治区とイラク政府の間の対立や、シリア難民及びシリアからの帰還民の増加などの影響で、治安の悪化に見舞われています。この報告は、2013年版を更新したものです。2013年版は以下のURLより(英語)。

<http://iomiraq.net/reports/kirkuk-governorate-profile>

イラク地図(左:広域 右:主要な都市と県)⁹



避難民の動向

2014 年の1月から2月にかけて、多くの国内避難民がキルクークに流入しました。国際移住機関(IOM)が4月、キルクーク市と Al-Hawiga 地区の10の居住区を調査したところ、937の避難世帯(人数でいうと5,622人)が身を寄せていることが明らかになりました。調査対象となった10の居住区のうち9つはキルクーク市中心部に位置し、1つは Al-Hawiga 地区の西部に位置しています。6つの居住区は、1月に避難してきた家族が中心で、3つの居住区は、2月に避難してきた家族が中心です。調査対象となった避難民は全員、ファルージャからの避難民でした⁹。注目されるのは、アンバール県からクルド人自治区へ避難した多くの避難民が、家賃や物価が高いために、キルクークへ南下してきていることです。また、治安がいくらか安定したため、元の地域に戻る家族が複数いることも報告されています。

2014年初頭、約20の家族が、ヨーロッパやトルコからキルクークへ戻ってきました。キルクークに住んでいた多くのシリア人家族は、仕事が見つからないため別の県への移住を決めたそうです。

治安

キルクークの治安はこの1年間でかなり悪化しましたが、特に2014年4月の選挙期間には非常に深刻な状況となりました。多くの地域で何十件もの事件が発生し、緊張状態が続いています。市民の多くが生命の危険を感じており、今年に入って少なくとも88人の市民が殺害されました¹⁰。暴力事件は、市民と軍人両方をターゲットにしており、特にトルクメン人やスンニ派のアラブ人が狙われているそうです。4月だけで少なくとも10の生命に関わる事件が発生しており、その中には即席爆弾を使った攻撃や、イラクの治安部隊をターゲットとした路上爆弾での攻撃などが含まれています。

登録

キルクークでの国内避難民の新規登録は、政府機関の中で手続きについて合意できなかったため、1月から2月にかけて停止していました。3月に合意できたものの、問題は依然残っており、ほとんどの避難民が避難民として登録されていない状況です。



10%の国内避難民は、地域外への自由な移動を制限されています。¹¹



写真：キルクーク県に避難してきた避難家族。現地 NGO・インサーン代表のアリー氏が撮影(2014.8)。

保健と教育

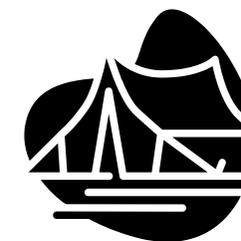
調査対象となった居住区では、医療や保健サービスを受けることが非常に困難です。10ある居住区のうちの5つで、国内避難民が利用できる医療施設が存在せず、また医薬品が不足しています。10のうち8つの居住区で、避難民は中等学校に通えず、あとの2つでは初等教育も受けられません。避難民が初等教育を受けられない最大の理由は、学校が家から遠いためです。中等学校に通えない理由も同様に、学校が遠くて通えないというものが多くありますが、経済的理由や、入学のための書類が揃わないために通えないという者も多く、大きな問題になっています。¹²

住まい・避難施設

キルクークの居住区での国内避難民の多くは、受け入れ家族や親戚の家を間借りするか、賃貸住宅を借りて生活しています。キルクーク市内では、200人以上が「インフォーマルな居住地」^fに、12世帯がモスクに居住しており、また Al-Hawiga 地域では、20世帯が学校に居住していることがそれぞれ明らかになっています。10の居住区のうち9つでは、IDP のための避難施設は良好な状態だということです。¹³

ニーズ¹³

調査された居住区に住む国内避難民のうち、282人の子どもたち（教育を受けられない子どもや、児童労働を強いられている子どもを含む）、特殊な背景を持つ190人の人々（具体的には、要人やマイノリティ<少数派>など）、184人の妊娠・授乳中の女性、95の母子家庭が、それぞれ明確な危機にさらされています。この県の主要な課題は、依然として公共サービスおよび治安の改善ですが、特に避難民の人々は、食料や日用品の支援に加え、法的支援や法的保護を必要としています。どの居住区も、経済的支援、保護施設、燃料、そして法的支援が、今最も避難民にとって必要なものだと主張しています。すべての居住区で、避難民は十分な現金を持たず、また燃料も手に入れられません。9の居住区において、避難民は生活必需品を手に入れられず、また必需品の価格も高騰しています。援助物資の中で主に必要とされているのは、粉ミルク、毛布などの寝具、清掃用品です。キルクークの10の居住区のうち、1つの居住区では、避難民の自由な移動が制限されています。イラク全体では、避難民のうち8%が、自由な移動を制限されているそうです。

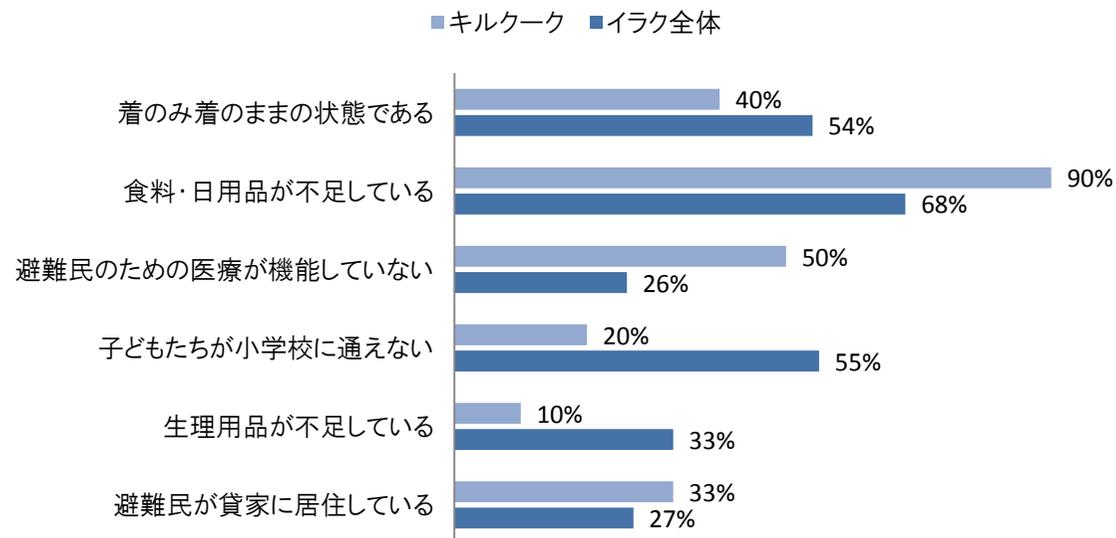


210

の避難世帯が、「インフォーマルな居住地」への滞在を余儀なくされています。

¹⁵

アンバール危機による国内避難民の状況¹⁴



※この表は、該当地域の避難民の全居住区のうち、何%の居住区が記載の状況にあてはまるかを示すものです。



<原注>

この報告書の内容は、アメリカの人口・難民・移民局出資の地域活性プログラム3(CRP III)の枠組みにのっとり作成された。

1. キルクーク県の25の地区でIDPを受け入れていることがわかり、そのうち10の地区を2014年4月に詳細に調査した。統計は、IOMのDTMの数値に基づく。詳しい情報は以下で確認できます(英語)。 www.iomiraq.net/dtm-page
2. 2014年4月のDTMの数値に基づく。

3・5. イラク移民・難民省(2014年5月4日)

4. IOMのイラクフィールド調査に基づく(2014年2月)

6. イラク中央統計局(2009) イラク共和国 HP

<http://cosit.gov/iq/en/population-manpower-statistics/life>

8. この報告書の質的データはすべて、2013年12月から2014年4月にかけてのIOMイラクのフィールド調査に基づく。

9・11. 2014年4月のDTMの数値に基づく。

10. 国連イラク局 www.uniraq.org

12～15. 2014年4月のDTMの数値に基づく。

<訳注>

この報告書は、国際移住機関(IOM)が発行したものです。IOMは、世界的な人の移動(移住)の問題に取り組む国際組織で、1951年に設立されました。IOMの前身は、欧州からラテンアメリカ諸国への移住を支援するため設立された、欧州移住政府間委員会です。その後活動範囲を世界各国へ拡大し、現在は155か国が加盟しています。国連総会オブザーバー資格を持っています。IOMはDTM(Displacement Tracking Matrix)という統計ツールを有しています。DTMは、移民・難民の動きをコンスタントにトラッキングし、支援に必要な基礎的な情報を収集しています。DTMの調査は現在政情不安定と判断された16の国家で展開されており、イラクもそこに含まれています。そのため、この報告書の情報は、主にDTMの数値を使ったものとなっています。国際移住機関の日本語ホームページは以下のURLにて。 <http://www.iomjapan.org/>

a. このたびの危機により、多くの国内避難民(IDP)が発生しています。2014年1月、イラク中央部に存在するアンバール県(よく報道されているファルージャなどがある県)で、イラク軍と反政府勢力(ISIS、イスラム国)が衝突し、大規模な紛争に発展しました。100万人以上が避難を余儀なくされたという報告もあります(IOM)。避難を余儀なくされた人々の一部は、この報告書で扱っているキルクーク県に避難しました。この報告書での「避難民」とは、「アンバール県の紛争により、キルクーク県に避難してきた国内避難民」を指します。

b. 今回のISISによる危機以前にも、国内避難民は発生しています。特に、2006年から2008年の間には、毎月6万人の避難民が発生していたとされています。この期間は、宗派対立が激化し、イラク戦争後もっとも治安が悪化したといわれた時期に当たり、一部報道では「内戦状態」とも称されました。

c. フセイン政権崩壊後、治安の悪化を理由に多くの国外避難民が発生しましたが、その避難先にシリアも含まれていました。ここ3年のシリア内戦を理由に、シリアからイラクに帰還する人が増えています。

d. 「イラクの治安が回復したから」という理由で帰還する人は2割にとどまり、多くは居住資格が延長できなかったから、仕事が見つからなかったから、経済的に避難生活を続けられなくなったからなどのやむを得ない理由で帰還しています(UNCHR・国連難民高等弁務官事務所のニュースフィードより)。

e. イラク広域地図: <http://voicejapan2.heteml.jp/janjan/world/0407/0407056504/1.php>
イラク詳細地図: <http://www.iraq-jccme.jp/basic/country.php>

f. 国連人間居住計画(UN-HABITAT)の定義に基づくと、1. 現住者が法的権利を持たない、あるいは不法に占有されている土地に、住居群がたてられた地域 2. 住宅が現行法および建築法規に準拠していない、無計画な居住区や地域 を指します。

(翻訳: JVC イラクチーム)